

「^お上山城^ろ」からのたより 盛夏・第169号

上山城にもありますよ！ 徳川家康直筆の書状

(公財) 上山城郷土資料館学芸員 長南伸治

あまり知られていないかもしれませんが、上山城には元「嵐」の松本潤くんではなく、あの江戸幕府を開いた徳川家康直筆とされる書状が収蔵されています(掲載画像参照)。「ウソだ!」とお思いの方。安心してください。その書状は、今月六日から二十七日まで上山城で開催される企画展で展示しますので、騙されたと思って見に来てください。

さて、家康の書状に話を戻しますが、その書状は旧上山藩士が所有していたもので、後に上市市に寄贈されたものとなります。書状には次のように記されています。

為音信見事之鯛五十到来喜悅候 謹言

十二月五日 家康

書状の内容を現代風に訳すと、「立派



徳川家康直筆とされる書状 (個人寄贈)

な鯛を五十匹も贈ってくれてありがとう!」となります。記した時期は十二月五日(年は不明)ですから、お歳暮か何かで鯛を贈ってもらったのでしょうか。

ちなみに、家康は元和二年(一六一六)一月二十一日、鯛の天ぶらをたらふく食べ、その翌日から激しい腹痛に苦しみ、ついに回復することなく、同年四月十七日に死亡しています。この出来事から、いつとき、家康は「鯛の天ぶら」を食べ過ぎたせいで死亡したと言われていることがありましたが、現在は否定されています(元々病気を患っており、鯛の天ぶらは、その病気を悪化させるきっかけになったとする説が有力)。

死亡原因はともかく、家康は鯛好きだったことは間違いないことのようにです。それだけに、今回紹介した書状で贈ってもらった「鯛」に大喜びしていた理由も頷けます。

それでは、企画展会場にて書状の原物をご鑑賞願います。お待ちしております。

【常設展示室から】抽選で景品が当たるクイズ上山城探検を毎月実施中。クイズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。